

日本の  
図書館・博物館  
美術館史事典

トピックス  
1871  
2023

# 目 次

凡 例 .....	(6)
前 史 .....	(8)
日本の図書館・博物館・美術館史事典—トピックス 1871-2023	
本 文.....	1
分野別索引.....	287
事項名索引.....	317

# 凡 例

## 1. 本書の内容

本書は、日本の図書館・博物館・美術館等の収集・展示・保存施設に関する出来事を年月日順に掲載した記録事典である。

なお、過去の法律名等に用いられている差別的な呼称などをそのまま掲載した箇所もある。

## 2. 収録対象

- (1) 政策、法律・制度、専門職・資格、技術、出版、会議・展覧会、沿革・活動、団体、事件・災害など、日本の図書館・博物館・美術館・動植物園・文書館に関する重要なトピックとなる出来事を幅広く収録した。また、上記分類に入らないトピックは「全般」ないし「その他」として分類した。
- (2) 収録期間は1871年（明治4年）から2023年（令和5年）までの153年間、収録項目は2,515件である。

## 3. 排 列

- (1) 各項目を年月日順に排列した。
- (2) 日が不明な場合は各月の終わりに、月日とも不明または確定できないものは「この年」として、おおよその年しか分からない場合は「この頃」として、各年の末尾に置いた。

## 4. 記載事項

各項目は、分野、内容を簡潔に表示した見出し、本文記事で構成した。

## 5. 分野別索引

- (1) 本文に掲載した見出し項目を分野別にまとめた。
- (2) 分野構成は、索引の先頭に「分野別索引目次」として示した。
- (3) 分野の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。

## 6. 事項名索引

- (1) 本文記事に現れる用語、テーマ、人名、団体名などを事項名とし、読みの五十音順に排列した。
- (2) 各事項の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。

## 7. 参考資料

本書の編集に際し、主に以下の資料を参考にした。

- 『現代日本図書館年表 1945-2020』奥泉和久編 日本図書館協会 2022.01
- 『講座・図書館情報学 12 図書・図書館史』山本順一監修 ミネルヴァ書房 2019.8
- 『図解博物館史 改訂増補』椎名仙卓 雄山閣出版 2000.3
- 『図書・図書館史（JLA 図書館情報学テキストシリーズ 3-11）』小黒浩司 編著 日本図書館協会 2013.1
- 『日本近代図書館史』角家文雄 学陽書房 1977.5
- 『日本図書館史概説 新版』岩猿敏生 日外アソシエーツ 2023.7
- 『日本博物館成立史 博覧会から博物館へ』椎名仙卓 雄山閣 2005.6
- 『博物館学年表－法令を中心に－』椎名仙卓、青柳邦忠 雄山閣 2014.2
- 『博物館の災害・事件史』椎名仙卓 雄山閣 2010.5

その他、各施設・企業HPなど

## 前 史

時代・時期	項 目
奈良時代	<p><b>図書寮</b></p> <p>奈良時代、律令制がしかれると「図書寮」が設置された。朝廷の持つ仏教・儒教の典籍を所蔵管理し、国史の編集・撰述、書籍の製本、文房具の製造・供給などを行っていた役所。中務省に属し、律令国家下の国立図書館としての役割を担っていた。平安時代に入ると、宮中の蔵書は内裏の御文庫や壬生家の文庫などに収められるようになった。</p> <p><b>東大寺写経所</b></p> <p>光明皇后の皇后宮職が写経所を運営していたが、律令官司である造東大寺司が設置されるとその下に属するようになり、「東大寺写経所」と呼ばれるようになった。仏典を読誦・研究・保存するため、各官庁の能筆が出向し業務にあたっていたが、やがて民間から能筆者が採用されるようになった。東大寺写経所における帳簿などの文書約1万点が正倉院文書として伝わっている。</p>
奈良時代末期	<p><b>芸亭</b></p> <p>奈良時代末期の文人・大納言石上宅嗣が平城京にある自身の邸宅を改築し、その一部の書庫を希望者に開放した。漢籍が中心に収蔵されており、日本最初の公開図書館とされる。</p>
鎌倉時代中期	<p><b>金沢文庫</b></p> <p>金沢流北条氏の北条実時によって「金沢文庫」が創設された。武蔵国六浦庄金沢郷（現・横浜市金沢区）の居館敷地内に設けられた。代を経て金沢氏によって運営されたが、利用には厳しい規定があり公開図書館的な存在ではなく、金沢氏個人の文庫であったと考えられる。金沢氏滅亡後、金沢郷の氏寺であった称名寺が文庫の管理を担ったが、蔵書は時の権力者によって持ち出され散逸した。1930年に大橋新太郎の寄付により復興し、博物館として一般に公開された。</p>
室町時代中期	<p><b>足利文庫</b></p> <p>足利学校の創設時期については諸説あるが、室町時代中期以降に関東管領上杉憲実が学校を整備してから記録が残っている。上杉憲実やその子孫が学生養成のために寄進した儒教の経典が所蔵されていた。1871年の廃藩置県によって蔵書とともに栃木県の管理下となる。76年に町民らの請願によって学校の土地や建物、蔵書が県から町に返還され、足利文庫として保存されることとなった。蔵書はおよそ3.2万冊。</p>

時代・時期	項 目
江戸時代前期	<p><b>貸本屋</b></p> <p>寛永期（1624-1644年）には、木版印刷の発展により庶民向の実用書や娯楽本が多く作られるようになった。これにより、講売料を取って書籍を貸し出す商人「貸本屋」があらわれるようになる。活版本が安価に出回るようになった明治期以降は徐々に減少するも、大正以降も貸本業者は庶民の読書活動に大きく貢献しつづけた。</p>
1639年	<p><b>紅葉山文庫</b></p> <p>徳川家康が創設した「富士見亭文庫」を徳川家光が江戸城紅葉山に移設、「紅葉山文庫」と呼ばれるようになる。文庫を管理するため書物奉行が配置され、歴代の将軍や幕府高官、学者などはこれらを利用し調査研究を行った。幕末の記録によれば、漢籍が7.5万冊、国書が1.2万冊、徳川家と幕府の歴史や記録を収めた御家部が2.6万冊、全体で11.3万冊を超える書籍が管理されていた。現在は国立公文書館に引き継がれている。楓山文庫とも。</p>
江戸時代後期	<p><b>物産会</b></p> <p>江戸時代後期には、本草家や本草学の同好会などによる自然物展示会「物産会」が行われるようになる。薬品会・本草会とも呼ばれ、明治時代には博物会とも。学問交流の場であるとともに、見物にきた大衆への啓蒙にも繋がる催しとなった。</p>
1831年	<p><b>青柳文庫</b></p> <p>仙台藩出身の青柳文蔵が、自らの蔵書およそ1万冊と運営資金1千両を藩に献上し、仙台藩の医学校構内に「青柳文庫」を創設した。蔵書は身分の別なく閲覧・貸出されたが明治維新後に廃止、戊辰戦争の影響もあり蔵書の多くは散逸した。現在は宮城県図書館が所蔵している。</p>
1860年2月9日 ～11月9日	<p><b>万延元年遣米使節派遣</b></p> <p>江戸幕府が日米修好通商条約の批准書交換のため、外国奉行・新見正興を正使とする総勢77名の使節団をアメリカに派遣。5月、一行はニューヨークのアスター図書館を訪問。勘定組頭の森田岡太郎はその時のことを『垂行日記』に「書籍館エ立寄。頭役ト覚敷者面会」と記した。これが西洋の図書館を「書籍館」と呼んだ初例で、「書庫」や「文庫」などの既成概念とは異なる蔵書空間を言い表わす新語として創出された。</p>
1865年1月	<p><b>薩摩藩留学生渡英</b></p> <p>町田久成、森有礼ら薩摩藩英国留学生が渡英した。町田は大英博物館などを見学し博物館事業に注目、帰国後博物館の立ち上げを主導することとなる。</p>
1866年	<p><b>『西洋事情』初編刊行</b></p> <p>福沢諭吉が『西洋事情』初編を刊行。万延元年遣米使節、文久元年遣欧使節に随行して得た知識や見聞から、欧米諸国の歴史、政治、文化、制度などを紹介した。</p>

時代・時期	項目
1869年1月27日	<p data-bbox="266 183 591 213"><b>「図書開板ノ規程ヲ定ム」公布</b></p> <p data-bbox="266 229 974 347">行政官布告第81号「図書開板ノ規程ヲ定ム」を公布。図書の出版に際しては管轄の府藩県へ出願し、府藩県から行政官へ稿本を提出して官許を受けた上で、1部を納本することとなった。これが納本制度の始まりとされ、中央による出版統制を目的とした。</p>
1870年9月6日	<p data-bbox="266 363 387 394"><b>物産局設置</b></p> <p data-bbox="266 410 960 440">大学南校に物産局が置かれた。田中芳男や町田久成らが同局で勤務した。</p>
1870年～	<p data-bbox="266 450 628 480"><b>各地で書籍縦覧所・読書施設開設</b></p> <p data-bbox="266 496 974 676">1870年代、全国各地で公私立の新聞雑誌・書籍縦覧所や結社の読書施設が開設され、明治時代前期に新聞や雑誌を市民に供する役割を担った。76年に大阪と埼玉（浦和）に府立および県立の書籍館が開設されたが、その後書籍館の地方設置はあまり進まず、78年から82年までの間に12館の公立書籍館が創設されるにとどまった。このうち、静岡、滋賀、愛知、青森（五戸）などは師範学校附属書籍館として無料で公開された。</p>

この年〔図書館/出版〕『東京図書館和漢書分類目録』等刊行 『東京図書館和漢書分類目録』『東京図書館和漢書仮名目録』が刊行された。

### 1884年 (明治17年)

- 1月〔図書館/沿革・活動〕太政官文庫設立 赤坂離宮の太政官構内に官庁所蔵図書の数多くを収集管理する「太政官文庫」が設立された。修史館所管の「紅葉山文庫」も同文庫に移管。また、農商務省上野博物館書籍室で公開されていた「浅草文庫」の旧蔵書の大半が同文庫に移された。1885年12月22日の内閣制度発足に伴い、「内閣文庫」に改称。
- 3.21〔図書館/沿革・活動〕内務省が千代田文庫設置 内務省が皇居和田倉門内に文庫と事務所を新築。千代田文庫と命名し、図書局の管轄下に置いた。1890年3月10日、内閣文庫に移管。
- 7.19〔図書館/政策〕文部省、書籍館に図書目録の調査を達す 文部省達第7号「書籍館図書目録調査ノ事」が府県下に出され、公私立書籍館の1884年末の調査をもって編纂した分類目録を85年6月までに提出するよう求めた。

### 1885年 (明治18年)

- 6.2〔図書館/沿革・活動〕東京図書館、東京教育博物館と合併 東京図書館が東京教育博物館と合併し、箕作秋坪が両館の館長を兼務。9月18日、東京図書館が湯島から上野公園の同博物館構内に移転し、10月2日開館(通称・上野図書館)。1886年3月29日、両館は文部省総務局の所属となり、手島精一が主幹を兼任した。
- 8.12〔全般/法律・制度〕「教育令」再改正 太政官布告第23号をもって「教育令」が再び改正された(第3次教育令)。
- 10.17〔動・植物園/沿革・活動〕浅草水族館開園 浅草水族館が開園した。淡水魚のほかに、タイ、コチ、アナゴ、カレイなどの海水魚も飼育・展示されたが、1年足らずで閉館したとされる。
- 12.22〔全般/政策〕内閣制度を創設 太政官制が廃止され、新たに内閣制度が創設された。内閣総理大臣・宮内・外務・内務・大蔵・陸軍・海軍・司法・文部・農商務・通信の各省が設置された。

### 1886年 (明治19年)

- 3.24〔博物館/沿革・活動〕農商務省博物館、宮内省へ移管 農商務省博物館が宮内省へ移管され、図書寮附属の博物館となった。これにより、同博物館は皇室の財産となった。
- 3.27〔全般/沿革・活動〕東京教育博物館、東京図書館が館長制廃止 東京教育博物館、東京図書館が文部省総務局の所属となり、館長制を廃止した。5月22日には「東京教育博物館総則」を定めた。前年に内閣制度が発足し、初代文部大臣に就任した森有礼は、学校制度の改革を進める一方で、博物館に対しては予算を縮小する政策を敢行した。教育博物館についても、以後縮小・廃止する政策が進められる。

### 1887年 (明治20年)

- 3月〔図書館/沿革・活動〕大日本教育会附属書籍館設立 1883年、全国的な教員団体「大日本教育会」が設立された。87年3月、東京図書館の蔵書の一部を基に、神田一ツ橋の旧体操伝習所寄宿舎内に同会附属書籍館が開館。全国各地で結成された教育会でも公開利用を前提とする書籍館が設置され、通俗図書館の普及に貢献した。こうした教育会図書館は戦前の道府県立図書館の3分の2を占めた。
- 12月〔図書館/出版〕『東京図書館季報』創刊 東京図書館が増加図書目録の速報と閲覧・貸付図書数などを周知する館報として、『東京図書館季報』を創刊(明治20年7月~9月)。八門分類を採用し、分類表が発表された。第2号にあたる明治20年10月~12月で中絶。

### 1888年 (明治21年)

- 9.27〔博物館/政策〕臨時全国宝物取調局設置 宮内省に臨時全国宝物取調局が設置された。これにより各地に調査員が派遣され、美術品や建築物の鑑査と登録が行われた。また、図書頭の九鬼隆一が臨時全国宝物取調委員長に就任した。かねてから美術資料の保護に強い関心を寄せていた九鬼は、同時期に美術館の必要性を主張していた岡倉天心と協調し、美術系博物館の政策を推進していく。

- うつむいた人物像を発見した。3月21日、同館のコレクション展で作品および研究成果が展示された。
- 2.19 (動・植物園/沿革・活動) シャンシャン中国に返還 上野動物園(東京都台東区)で中国に返還されるジャイアントパンダ・シャンシャンの最後の一般公開が行われ、事前抽選で当選した約2600人が同園を訪れた。シャンシャンは2017年6月12日に同園で誕生。シャンシャンを含むパンダの所有権は中国にあり、繁殖適齢期である4~5歳になる前にパートナーを探す必要がある。このため20年末までに返還予定だったが、コロナ禍の影響などで5回にわたり返還が延期されていた。21日、中国へ向けて出発。
- 2.26 (博物館/沿革・活動) 日本サッカーミュージアムが休館 日本サッカーミュージアム(東京都文京区)が休館した。日本サッカー協会(JFA)の移転にともなう休館で、最終営業日となる同日には男子日本代表の森保一監督らが参加するトークイベント「未来へのパス」などが開催された。同ミュージアムは2002FIFAワールドカップ(日韓W杯)を記念し、2003年に日本サッカー協会ビル(JFAハウス)内に開館。休館までの累計入場者数は71万0126人に達した。JFAはトヨタ自動車東京本社ビル(東京都文京区)に移転するが、同ミュージアムの移転先は未定。
- 2.27 (美術館/沿革・活動) 西新宿サイバーフィジカル美術館開館 西新宿サイバーフィジカル美術館(筑波大学、武蔵野大学、丹青社主催)が京王プラザホテル(東京都新宿区)3階アートロビーに開館した。サイバー空間にアーティゾン美術館(東京都中央区)の常設展を再現し、実世界と同じように歩行しながら展示を鑑賞する企画で、東京都による「5G等先端技術サービスプロジェクト」の一環。3月19日、閉館。
- 3.9 (動・植物園/事件・災害) ライオンが新型コロナ感染 レジャー施設「アドベンチャーワールド」(和歌山県白浜町)が、同園のサファリワールドで飼育していたライオン2頭が新型コロナウイルスに感染し、肺炎のため死んだと発表した。飼育員2人の感染も確認されており、飼育員からライオンに感染したとみられる。2頭は1月初旬に鼻水や咳などの症状を発生し、9日と12日に死亡。検査の結果、2月10日に感染が判明した。国内の動物園で飼育される動物としては初の感染例となる。
- 3.17~5.14 (美術館/会議・展覧会) 東京国立近代美術館70周年記念展 1952年12月1日に開館した東京国立近代美術館(東京都千代田区)の開館70周年を記念し、「東京国立近代美術館70周年記念展—重要文化財の秘密」が開催された。主催は毎日新聞社、東京国立近代美術館、日本経済新聞社、協賛は損害保険ジャパン、大伸社。展示内容は重要文化財に指定されている明治以降の絵画、彫刻、工芸全68点のうち51点。
- 3.18 (美術館/沿革・活動) 広島市現代美術館がリニューアルオープン 広島市現代美術館がリニューアルオープンし、セレモニーが挙行された。また、リニューアルオープンに合わせた特別展「Before/After」が6月18日まで開催された。同館は1989年に国内初の公立現代美術館として開館。2020年12月末に休館し、黒川紀章による建築の大規模改修工事を実施していた。
- 3.27 (全般/政策) 文化庁が京都で業務開始 文化庁が移転先である京都市で業務を開始し、旧京都府警本部本館を利用した新庁舎で「文化庁」の銘板の除幕式が挙行された。中央省庁が地方へ大規模移転するのは初めてのことで、5月中旬までに全9課中5課と職員の約7割が京都市に移転。4課と職員の約3割は東京都に残留する。
- 3.28 (美術館/沿革・活動) 国立アトリサーチセンターを設立 国立アトリサーチセンターが独立行政法人国立美術館内に設立された。アート振興を総合的に展開する拠点

- として、同法人が設置する各館を中心に国内外の美術館・研究機関・企業・教育関係者などと連携し、美術館コレクションの活用促進、日本のアートに関する情報資源の集約・発信、海外への発信・国際ネットワーク、ラーニングの充実に取り組む組織。
- 3.30 (博物館/沿革・活動) 大阪人権博物館所蔵資料を寄贈 大阪人権博物館(愛称・リバティおおさか)を運営する公益財団法人大阪人権博物館が、所蔵資料約3万点を大阪公立大学に寄贈する方針を発表した。同館は差別と人権をテーマとする博物館で、大阪府、大阪市、部落解放同盟大阪府連合会などが出資し、1985年に無償で貸与された市有地に開館。2013年に府と市が補助金を全廃し、15年には市が土地の明け渡しを求めて同館を提訴。2020年に和解が成立し、5月に閉館、退去。以後、移転再開を目指していたが、断念したという。
- 3.31 (美術館/沿革・活動) アーツ千代田3331が閉館 アーツ千代田3331(東京都千代田区)が開館した。「千代田区文化芸術条例」に基づく「千代田区文化芸術プラン」の一環として2010年6月26日にグランドオープンした文化芸術施設(アートセンター)で、開館以来約1000件のイベントを開催したが、老朽化した施設の大規模改修工事計画に伴い閉館となった。
- 3月 (動・植物園/沿革・活動) アフリカゾウ人工授精事業 盛岡市動物公園「ZOOMO(ズーモ)」を運営するもりおかパークマネジメントと盛岡市が、市の事業として日本初となるアフリカゾウの人工授精を行う協定を締結した。6月、ゾウの人工授精の第一人者であるドイツのトーマス・ヒルデブランド博士と人工授精を実施するための契約を締結。9月下旬から10月上旬に実施予定だったが、フランスからの冷凍精子輸入手続きに時間を要したことなどから2度にわたり延期された。2024年3月から4月に実施予定。23年1月現在、国内で飼育中のアフリカゾウは14施設で計25頭。13年を最後に子ゾウが生まれていない一方、最近10年間で16頭が死亡。「ワシントン条約」による規制のため輸入も途絶えている。
- 4.28~7.2 (美術館/会議・展覧会) 京都国立近代美術館開館60周年 京都国立近代美術館(京都市左京区)開館60周年記念として特別展「Re: スタートライン 1963-1970・2023 現代美術の動向展シリーズにみる美術館とアーティストの共感関係」が開催された。同館が開館したのは1963年。開館記念として開催されたのが「現代絵画の動向」展で、後に「現代美術の動向」展と改称し、70年まで毎年開催された。
- 4.29 (博物館/技術) 科博に子どもファスト・トラック 国立科学博物館が常設展の入り口に子どもファスト・トラックを設置した。5月1日、小倉将信こども政策担当相が同館を視察。子どもファスト・トラックは子連れ客が列に並ばず優先的に公共施設などを利用できるシステムで、「異次元の少子化対策」の一環として政府が推進している。
- 4.29 (博物館/沿革・活動) 大阪コリアタウン歴史資料館が開館 大阪コリアタウン歴史資料館(大阪市生野区)がJR大阪環状線鶴橋駅近くの大阪コリアタウン内に開館した。一帯は古くは猪飼野と呼ばれ、古くは百済などからの渡来人が定住。20世紀初頭には朝鮮半島から多くの人が移住してきた。現在、生野区は人口13万人の2割が外国籍で、うち2万人が韓国・朝鮮籍だという。
- 4月 (文書館/沿革・活動) 熊本県公文書センター開設 熊本県公文書センターが、熊本市中央区水前寺に開設した。
- 5.6 (博物館/その他) アイヌ民族の遺骨返還 アイヌ民族の遺骨4体がオーストラリアの博物館から日本に返還された。遺骨は1910年代から30年代にかけて、日本の研究者

---

## 分野別索引 目次

---

### 【全般】

政策	289
法律・制度	289
沿革・活動	289
団体	289
事件・災害	289
その他	290

### 【図書館】

政策	290
法律・制度	291
専門職・資格	292
技術	293
出版	293
会議・展覧会	294
沿革・活動	295
団体	300
事件・災害	302
その他	303

### 【博物館】

全般	303
政策	303
法律・制度	304
専門職・資格	305
技術	305
出版	305
会議・展覧会	305
沿革・活動	306

団体	309
事件・災害	309
その他	309

### 【美術館】

政策	309
法律・制度	309
会議・展覧会	310
沿革・活動	310
団体	311
事件・災害	311
その他	312

### 【動・植物園】

政策	312
法律・制度	312
沿革・活動	312
団体	313
事件・災害	313
その他	314

### 【文書館】

政策	314
法律・制度	314
専門職・資格	314
沿革・活動	314
団体	315
事件・災害	315

旧石器遺跡埋没事件	2000.この頃
新潟県中越沖地震(2004)	2004.10.23
新潟県中越沖地震(2007)	2007.7.16
東日本大震災	2011.3.11
関東・東北豪雨、文化施設が被害	2015.9月
第三者による商標登録出願問題	2016.1.5
2016年熊本地震	2016.4.14
鳥取県中部地震	2016.10.21
平成30年台風21号	2018.9.4
北海道胆振東部地震	2018.9.6
令和元年東日本台風	2019.10.11~26
令和2年7月豪雨	2020.7.3~31
<b>【全般/その他】</b>	
1万分の1の地形図の建物記号	1984.3月
NTTアートテクノロジー設立	2020.12.1
<b>【図書館/政策】</b>	
博物館・書籍館・博物局・小石川薬園を併合	1873.3.19
内務省、図書寮設置	1875.9.28
「公立書籍館ノ設置ヲ要ス」発表	1877.12月
学事諮問会開催	1882.11.21~12.15
文部省、書籍館に図書目録の調査を達す	1884.7.19
文部省、紀元節に奨励金交付	1927.2.11
「図書館普及に関する建議案」提出	1927.3月
文部省に社会教育局設置	1929.7.1
良書普及事業開始	1931.8月
国民教化運動の宣伝事項に「図書館記念日」選定	1937.9.18
国民精神総動員文庫の費用交付	1938.9.16
図書推薦調査会議設置	1938.9月
文部省、児童図書館の推薦開始	1939.6.3
市町村立図書館振興助成につき通牒	1941.10.31
「図書館事業の体制確立に関する請願」提出	1942.2.9~10
「図書館の戦時体制確立に関する建議案」提出	1943.2.12
文部省、貴重書の疎開を指示	1943.12.22
GHQ覚書「禁止図書、出版物ニ関スル件」	1946.2.26
「キーニー・プラン」提出	1946.4.8
「国立図書館設立に関する決議案」ほか可決	1946.10.11
「公共図書館制度刷新要綱案」作成	1946.12月
CIE図書館担当官キーニーに解雇通告	1947.4.22
CIE図書館担当官バーネット着任	1947.10.24
戦災図書館に補助金交付	1947(この年)
CIE特別顧問ダウンス来日	1948.7.7
学校図書館協議会設置	1948.7.24
CIE図書館担当官フェアウェザー着任	1949.4月
ダウンス再来日	1950.6月
CIE映画「格子なき図書館」公開	1950.12.5
「学校図書館の育成指導について」通達	1952.8.14
「国立大学図書館改善要項及びその解説」発表	1952.11.26

学校図書館審議会発足	1954.9.6
「青少年巡回文庫」実施要項通達	1955.7月
文部省組織改革	1956.3.31
社教審、「青少年向図書の選定について」答申	1958.8.25
読書指導分科会設置	1958.12.15
盲人用郵便が無料化	1961.6.1
「図書館政策の課題と対策」	1970.4月
東京都、「図書館政策の課題と対策」決定	1970.6.18
社教審、「社会教育のあり方」中間報告	1970.9.22
社教審、「公立図書館の設置・運営基準(案)」発表	1973.7.12
文部省、外国雑誌センター館を指定	1977(この年)
総理府「読書・公共図書館に関する世論調査」公表	1980.1.19
学術審議会「学術情報システムの在り方」答申	1980.1.29
文部省、「学術情報システム答申に示された視点について」通知	1980.3.19
文部省組織改革	1984.7.1
「新しい時代の公共図書館」	1988.2.9
文部省生涯学習審議会、「司書・司書補講習の科目内容(案)」発表	1991.6.28
生涯学習審議会、「公立図書館の設置・運営基準(報告)」	1992.5.21
学校図書館図書整備新5か年計画	1993.3.29
学術審議会、「大学図書館機能の強化・高度化の推進について(報告)」	1993.12.16
文部省、学校図書館に教科書の常備を指示	1994.9.29
東京都区内、司書の職名廃止	1996.6.6
「第1期科学技術基本計画」の閣議決定	1996.7.2
中教審、「21世紀教育の在り方について(第一次答申)」を提出	1996.7.19
学術審議会、「大学図書館の電子図書館的機能充実・強化」策定	1996.7.29
「公立図書館望ましい基準」報告	2000.12.8
「2005年の図書館像」公表	2000.12.21
「子ども読書年」	2000(この年)
「学校図書館図書整備5か年計画」策定	2002.4月
「子ども読書活動推進計画」告示	2002.8.9
教育・図書館での著作物利用制限の見直し	2002.9.27
地図記号に博物館・図書館追加	2002(この年)
文科省研究振興局、大学図書館の改善について報告	2003.3.17
国大図書館協議会、「電子図書館の新たな潮流」公表	2003.5.29
私大図書館コンソーシアム誕生	2003.7月
「公共図書館貸出実態調査報告書」発表	2003.10.22
BMの廃止と図書館ボランティアの導入	2003.この頃
文科省、「これからの図書館会議」設置	2004.7.30
政府IT戦略本部、「IT新改革戦略」決定	2006.1.19
科学技術・学術審議会、「学術情報基盤の今後の在り方」公表	2006.3.23
文科省、「これからの図書館像(報告)」公表	2006.4.5

文科省、「子どもの読書サポーターズ会議」第1回会合	2007.7.10
中教審、「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」答申	2008.2.19
子どもの読書サポーターズ会議、「これからの学校図書館の在り方等について(報告)」公表	2009.3月
文科省、「これからの図書館会議」設置	2009.7.1
科学技術・学術審議会、「大学図書館の整備・学術情報流通の在り方」発表	2009.7月
読書推進協力者会議を設置	2010.7.20
2012年度「学校図書館の現状に関する調査」	2013.2.5
国際児童文学館の運営方針転換	2013.2.20
国会事故調による収集資料の取扱いに関する要請	2013.2.27
「学校図書館関係の地方財政措置について」	2013.3.13
「第3次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」	2013.5.28
学校図書館担当職員に関する調査研究協力者会議	2013.8.9
「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について」	2013.8.21
文科省「学校図書館職員の役割・職務・資質能力の向上方策」公表	2014.3.31
大学等のジャーナル環境の整備報告書	2014.8.26
大阪府立高校の2割で図書館利用時間制限	2014.9.22
「FLASH」を不健全図書に指定	2014.11.11
置戸町立図書館条例を制定	2014.12.19
文科省「学校図書館整備充実の論点整理について」	2016.3.10
2016年度学校図書館の現状に関する調査	2016.10.13
学校図書館ガイドラインと学校司書のモデルカリキュラム	2016.10.20
県市合築図書館計画	2017.1月
「障害者サービス実施計画2017-2020」	2017.3月
第4次「子ども読書活動推進計画」閣議決定	2018.4.20
文科省、「休館中の図書館、学校図書館における取組事例」を通知	2020.4.23
文科省・厚労省、「視覚障害者等の読書環境整備推進計画」策定	2020.7.14
「図書館関係のデジタル・ネットワーク対応中間まとめ」発表	2020.12.4
図書館関係デジタル・ネットワーク対応報告書を公表	2021.1.15
令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」	2021.7.29
第6次学校図書館図書整備等5か年計画	2022.1.24
<b>【図書館/法律・制度】</b>	
「教育令」公布	1879.9.29
「公立幼稚園図書館等ノ設置廃止認可方」等布達	1879.11.12
「改正教育令」公布	1880.12.28

「府県立学校幼稚園図書館等設置廃止規則」等制定	1881.1.31
「東京図書館官制」公布	1889.3.2
「官立学校及図書館会計法」公布	1890.3.28
「東京図書館官制」改正	1891.7.24
「文部省直轄学校官制」改正	1893.8.25
「公立図書館費国庫補助法案」提出	1897.2.26
「図書館令」公布	1899.11.11
勅令第456号公布	1899.12.20
「図書館令」一部改正	1906.10.9
「公立図書館職員ノ俸給ニ関スル件」公布	1906.11.1
「図書館ニ関スル規程」公布	1906.12.14
「帝国大学特別会計法」公布	1907.3.25
「小松原訓令」発令	1910.2.3
「図書館令」一部改正	1910.6.20
「通俗図書認定規程」公布	1913.7.26
勅令第42号公布	1914.3.28
「公立図書館職員令」公布	1921.7.21
「治安維持法」公布	1925.4.22
改正「図書館令」公布	1933.7.1
図書館附帯施設論争	1934.1.1~4.1
「公立図書館司書検定試験規程」公布	1936.10.30
「公立図書館職員令」改正	1946.4.1
「帝国大学司書官及帝国大学司書特別任用令」廃止	1946.4.1
「地方自治法」公布	1947.4.17
「国会法」「国会図書館法」公布	1947.4.30
「学校教育法施行規則」制定	1947.5.23
「文部省の「公共図書館法案」に関する覚書」提出	1947.7.11
「文部省社会教育局文化課案」発表	1948.3.25
「公共図書館法案 日本図書館協会」公表	1948.11.3
「文部省設置法」公布	1949.5.31
「国立国会図書館法」一部改正	1949.6.6
「図書館法」公布	1950.4.30
「図書館法施行規則」公布	1950.9.6
「図書館法」第17条施行	1951.4.1
「対日平和条約」発効	1952.4.28
「大学図書館基準」決定	1952.6.17
学校図書館振興のための請願書を国会に提出	1953.1月
「学校図書館法」公布	1953.8.8
「学校図書館法施行令」公布	1954.12.16
「大学設置基準」公布	1956.10.22
青少年育成に関する条例	1964.8.1.
「著作権法」公布	1970.5.6
「東村山市立図書館設置条例」施行	1974.4.1
文化庁、フォトコピー使用状況を調査	1975.2.21
文部省、「国立大等図書館間相互文献複写業務について」通知	1978.12.19
京都市、図書館委託3条例公布	1980.12.8
「著作権法」改正	1984.5.25
「図書館法」が一部改正	1985(この年)
神奈川県、「個人情報保護条例」制定	1990.3.30

日本マラソンの父 金栗四三ミュージアム	
金栗四三生家記念館開館	2019.1.11
日本民藝館	
日本民藝館開館	1936.10月
日本盲学生図書館	
SL設立	1967.11.23
『日本目録規則(NCR)』	
青年図書館員連盟設立	1927.11月
『日本件名標目表(NSH)』刊行	1930.8月
CIE特別顧問ダウンス来日	1948.7.7
『日本目録規則(NCR)』1952年版刊行	1953.1.25
『日本排列規則(案)』発表	1958.3.10
日本モンキーセンター	
日本モンキーセンターが不適切投稿	2020.10.28
日本薬学図書館協議会	
日本薬学図書館協議会設立	1955.4.9
第1回医学薬学図書館講習会開催	1956.8.4～5
薬図協、薬学部図書館設置基準改正	1981.5.18
日本ユネスコ国内委員会	
文献活動連絡協議会結成会	1954.6.15
ニホンライチョウ	
ライチョウ、人工飼育で孵化	2015.6.27
ニホンライチョウの卵12個を採取	2016.6.3～21
19年ぶり人工繁殖	2017.6.18
ニホンライチョウ一般公開	2019.3.15
ライチョウを木曾駒ヶ岳に放鳥	2022.8.10
日本ライトハウス	
この年の秋、点字文明協会創業	1922(この年)
盲人情報文化センター開館	1979.3.1
「びぶろネット」開始	2004.4.1
『日本老農伝』	
大西伍一死去	1992.5.26
「入場税法」	
「入場税法」公布	1954.5.13
ニュースパーク	
ニュースパーク開館	2000.10.12
葦塚 一三郎	
「図書館の自由に関する宣言」主文採択	1954.5.28
ニール号	
ニール号遭難	1874.3.20
人間国宝	
第1回重要無形文化財認定	1955.2.15
「人間をかえせ」	
峠三吉自筆資料を広島平和記念資料館に寄託	2016.8.3
認定動植物園等(仮称)	
種の保存法改正を検討	2016.4.26
ニンテンドーミュージアム	
ニンテンドーミュージアム建設	2021.6.2

【ぬ】

布川 角左衛門	
日本出版学会設立	1969.3.14
日本図書コード管理委員会発足	1980.1.17
沼津港深海水族館	
沼津港深海水族館開館	2011.12.10
メンダゴ展示世界最長記録を更新	2016.6.29

【ね】

猫の森	
ねこのわ文庫が開館	2016.4.16
ねこのわ文庫	
ねこのわ文庫が開館	2016.4.16
根津美術館	
根津美術館開館	1941.11月
「ネットワーク系電子出版物の収集に関する制度の在り方について」	
NDL、「電子出版物の収集制度について」	
答申	2004.12.9
ネーミングライツ	
レイクアルスタープラザ・カワサキ中央図書館と改称	2014.4.1
京都市美術館のネーミングライツ売却	2016.9.1
練馬区立練馬図書館	
練馬図書館開館	1962.8.1
練馬図書館テレビドラマ事件	1967.6.13
年縞博物館	
第2回日本博物館協会賞	2021(この年)

【の】

ノイウィーディア・ボルニエンシス	
3種の世界一のランが同時に開花	2013.12月
農商務省	
農商務省職制を改正	1882.4.26
農商務省商品陳列館	
「貿易品陳列館官制」公布	1896.3.30
「農商務省商品陳列館規則」制定	1897.7.28
「農商務省商品陳列館規則」	
「農商務省商品陳列館規則」制定	1897.7.28

農商務省博物館	
農商務省博物館と附属動物園開館	1882.3.20
法隆寺献納宝物、農商務省博物館に収蔵	1882.12.1
農商務省博物館、宮内省へ移管	1886.3.24
農商務省博物局	
農商務省設置	1881.4.7
農商務省博物局移転	1881.10.1
納入出版物代償金	
納入出版物代償金の返金を要求	2016.2.2
納入出版物代償金審議会	
NDL、納入出版物代償金審議会設置	1959.6.1
『納本月報』	
「納本月報」創刊	1948.9月
『納本週報』	
「納本月報」創刊	1948.9月
納本制度	
「国立国会図書館法」一部改正	1949.6.6
「国立国会図書館法」改正	2004.11.19
電子書籍の納本義務化の答申	2010.6月
NDL、オンライン資料収集制度を開始	2013.7.1
納入出版物代償金の返金を要求	2016.2.2
納本制度審議会	
NDL、「電子出版物の収集制度について」	
答申	2004.12.9
野口 英司	
「青空文庫」、HP正式公開	1997.9.11
野口 武悟	
第36回学校図書館賞	2006(この年)
第52回学校図書館賞	2022(この年)
野口 孫市	
大阪図書館開館式	1904.2.25
野毛山動物園	
よこはま動物園ズーラシア	1999.4.24
のとじま臨海公園水族館	
のとじま臨海公園水族館開館	1982(この年)
ノートルダム大聖堂	
国宝・重要文化財の防火設備等を調査	2019.8.8
延岡市役所火災	
宮崎県立延岡図書館焼失	1937.2.18
登別マリナーパークニクス	
国内最高齢のラッコが死亡	2014.4.18
野間 省一	
日本出版学会設立	1969.3.14
国際図書年記念大会など開催	1972.7.3
野村 日出夫	
第7回学校図書館賞	1977(この年)
乗杉 嘉壽	
文部省普通学務局第4課設置	1919.6月
図書館員教育所開設	1921.6.1
松本喜一死去	1945.11.13
乗杉嘉壽死去	1947.2.1

【は】

拜戸 雅彦	
「日本の美術館が収集した『近代』」開催	2022.2.12
廃仏毀釈	
「古器旧物保存方」	1871.5.23
「破壊活動防止法」	
誌上討論会「図書館の抵抗線」	1952.10.20
萩生田 光一	
新型コロナウイルスで閉館要請	2020.2.26
白鶴美術館	
白鶴美術館開館	1934(この年)
ハクバサンショウウオ	
ハクバサンショウウオの人工繁殖	2013.8.29
博物館活動支援センター	
博物館活動支援センター発足	2008.2.21
『博物館関係法令集』	
『博物館関係法令集』発行	1981.4.1
『博物館教育』	
棚橋淳太郎死去	1961.4.3
『博物館研究』	
博物館事業促進会発足	1928(この年)
終戦と博物館	1945.8.15
『博物館研究』再開	1946.2.1
「棚橋賞」設置	1962.2月
博物館建設ブーム	
第1期博物館建設ブーム	1965(この頃)
第2期博物館建設ブーム	1990(この頃)
博物館懇話会	
「公立博物館等の最低基準案」	1950.12.9
博物館事業促進会	
博物館事業促進会調査会	1928.6.21
博物館事業促進会発足	1928(この年)
第1回博物館並類似施設主任協議会開催	1929.5.22
「博物館施設ノ充実完成ニ関スル建議」提出	1930.4.18
博物館資料保存技術研修会	
第1回博物館資料保存技術研修会	1963.7.22～24
博物館振興係	
文科省、組織再編を発表	2018.10.16
「博物館等の保管するアイヌ遺骨等の取扱いについて」	
「博物館等の保管するアイヌ遺骨等の取扱いについて」	2022.7.15
博物館並類似施設主任協議会	
第1回博物館並類似施設主任協議会開催	1929.5.22

---

# 日本の図書館・博物館・美術館史事典 —トピックス 1871-2023

---

2024年5月25日 第1刷発行

---

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

---

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

---

不許複製・禁無断転載

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

<ラフクリーム琥珀N使用>

ISBN978-4-8169-3007-2

Printed in Japan, 2024

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。